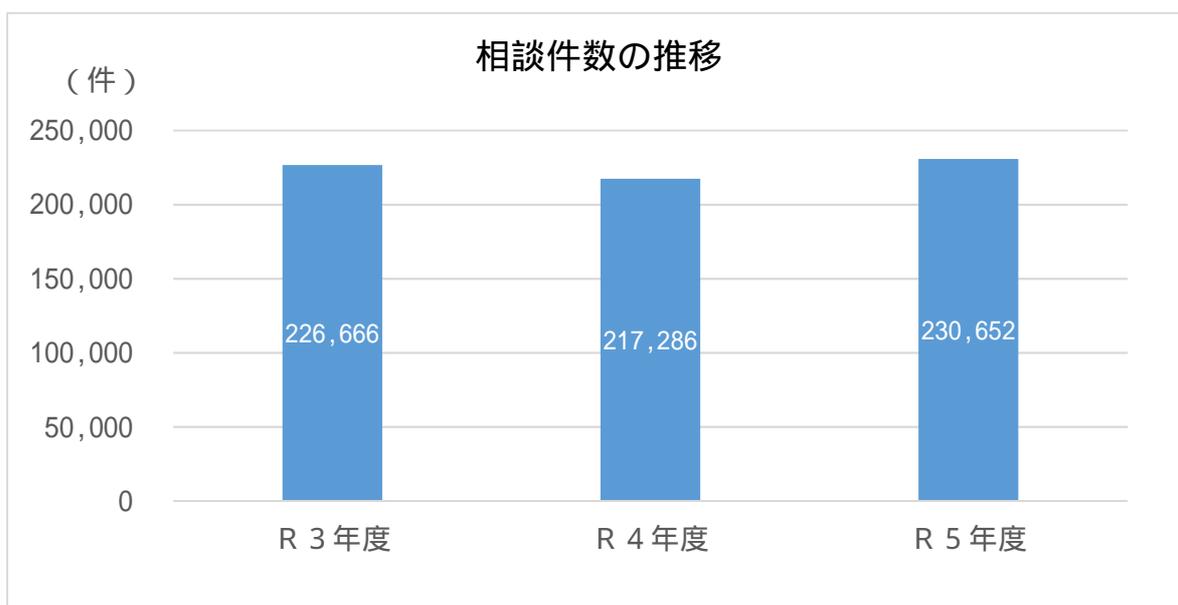


令和 6 年 7 月 26 日
 高齢施策担当部高齢者支援課

令和 5 年度 練馬区地域包括支援センター事業実績について（報告）

1 相談件数 延べ件数

令和 5 年度の相談件数は、地域包括支援センター（27 か所）全体で 230,652 件であった。

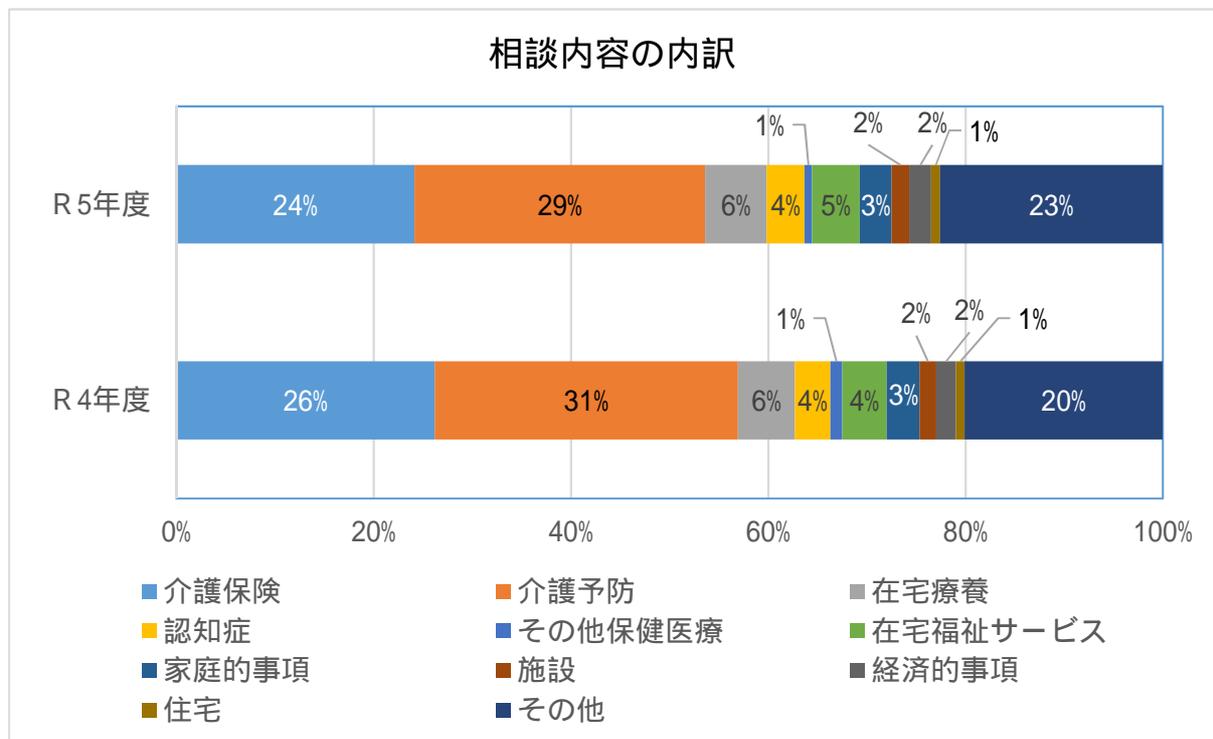


センター別の相談件数は下表のとおりである。

練馬圏域	第 2 育秀苑	7,578	石神井圏域	練馬ゆめの木	5,539
	桜台	7,724		高野台	11,583
	豊玉	5,496		石神井	13,001
	練馬	5,346		フローラ石神井公園	15,617
	練馬区役所	9,349		第二光陽苑	8,274
	中村橋	9,206		関町	12,351
	中村かしわ	5,707		上石神井	6,246
光が丘圏域	北町	10,469	大泉圏域	やすらぎミラージュ	11,137
	北町はるのひ	6,621		大泉北	10,578
	田柄	8,873		大泉学園	6,319
	練馬高松園	6,334		南大泉	6,520
	光が丘	11,220		大泉	10,141
	光が丘南	4,951		やすらぎシティ	8,093
	第 3 育秀苑	6,379		合計	230,652

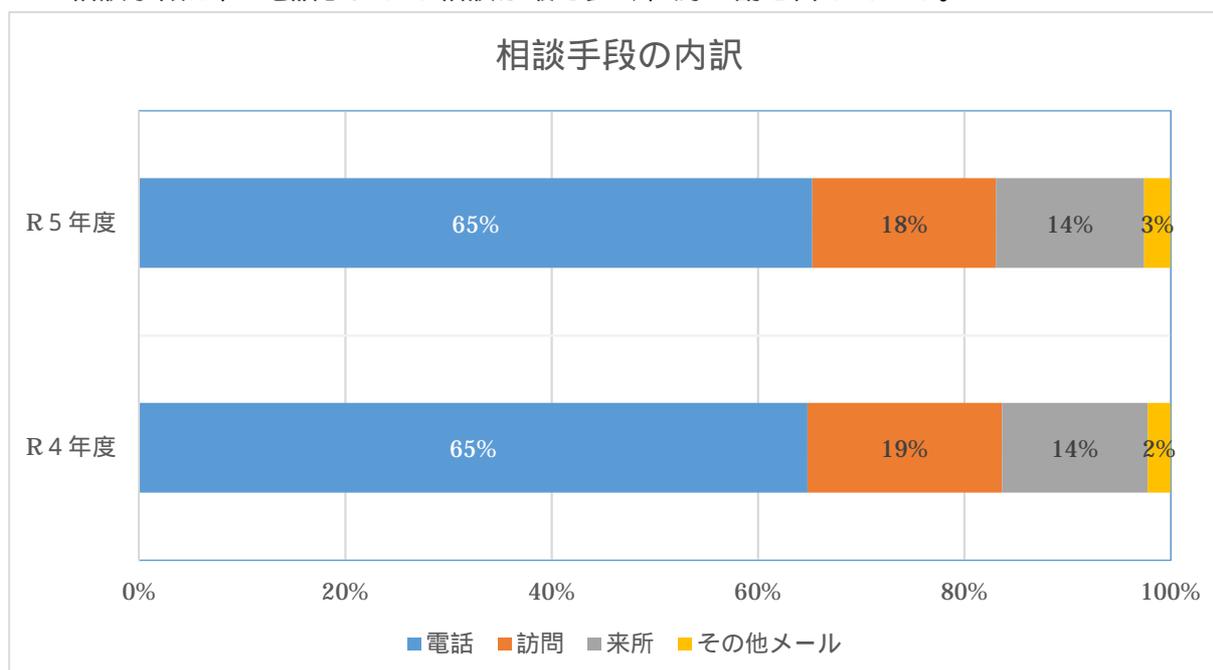
2 相談内容の内訳

相談内容としては、「介護保険」および「介護予防」に関する相談が多く、合計すると約5割となっている。



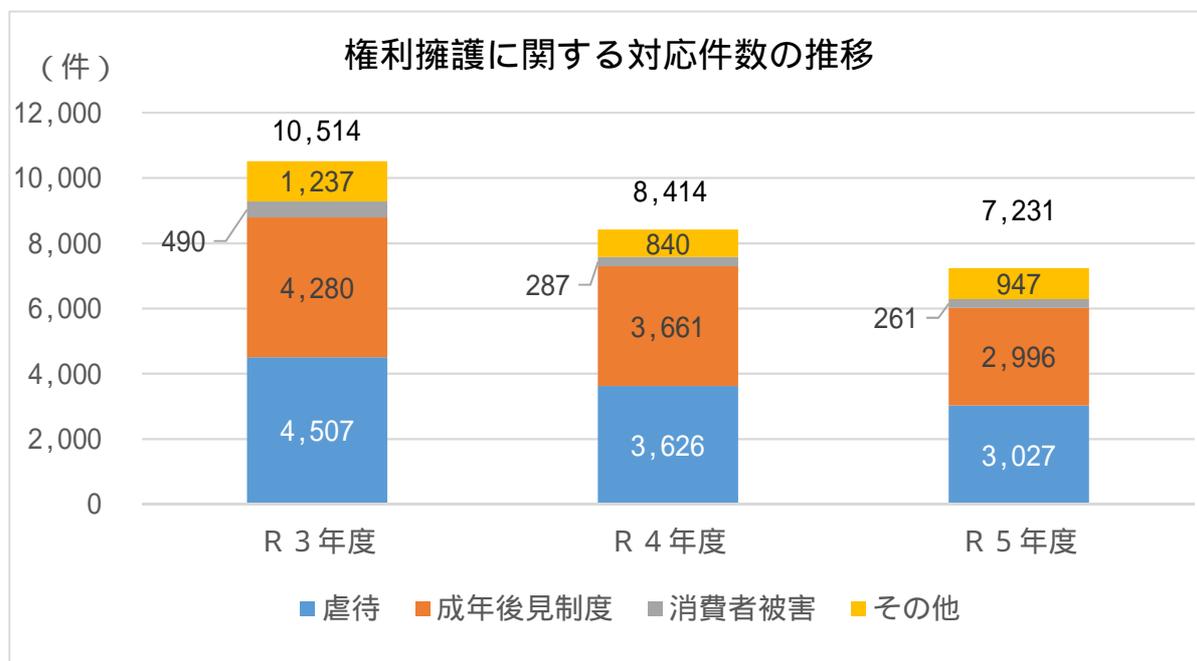
3 相談手段の内訳

相談手段は、「電話」による相談が最も多く、約7割を占めている。



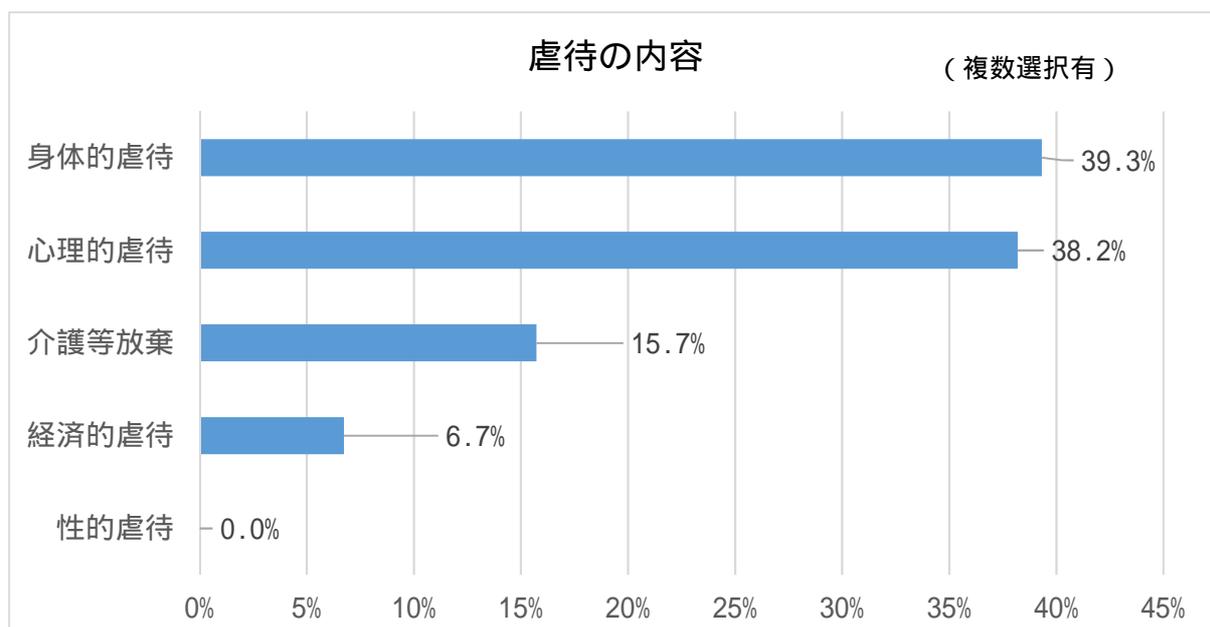
4 権利擁護関係の実績 延べ件数

令和5年度の権利擁護関係の対応件数は7,231件であった。内訳を見ると、「高齢者虐待」の対応件数が最も多く3,027件で、次に「成年後見制度」の対応件数が多い。



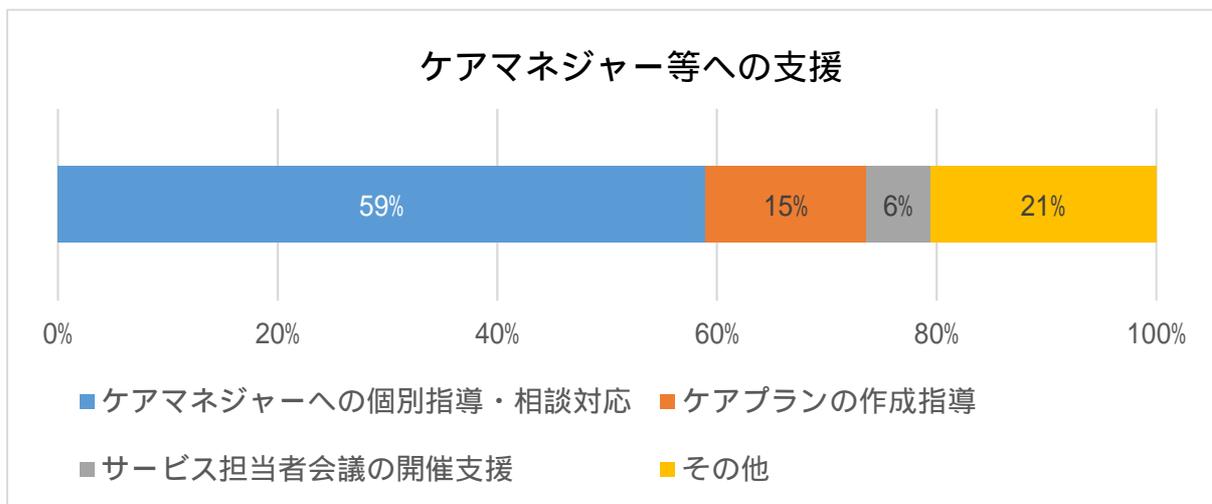
【参考】高齢者虐待対応の内訳

高齢者虐待対応は、総合福祉事務所と地域包括支援センターが連携して対応している。令和5年度の区またはセンターへの虐待の相談・通報件数（実数）は、73件であった。その内、自宅への訪問調査などにより、虐待が認められたものは64件であった。



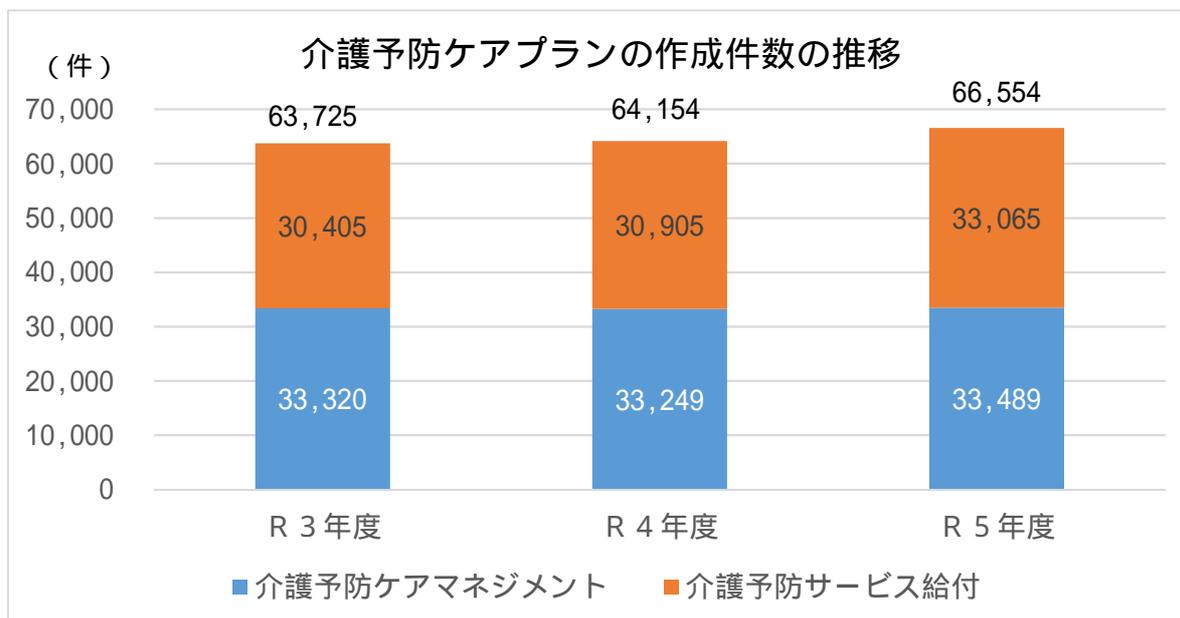
5 ケアマネジャー等への支援の実績

令和5年度のケアマネジャー等への支援の件数は7,985件であった。「ケアマネジャー等への個別指導・相談対応」が最も多く、全体の約6割を占めている。



6 介護予防ケアプランの作成件数の推移 延べ件数

令和5年度の介護予防ケアプラン作成件数は66,554件で、内訳は、「介護予防ケアマネジメント」が33,489件、「介護予防サービス給付」が33,065件であった。



介護予防ケアマネジメント

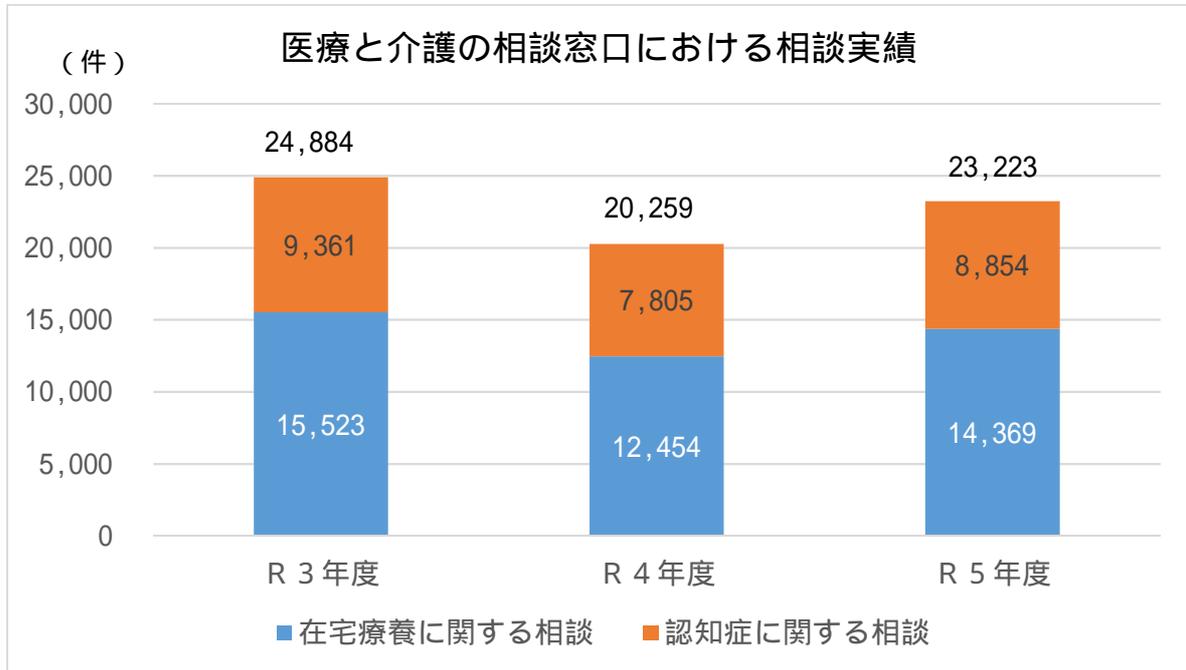
要支援1・2の認定、または健康長寿チェックシートにより事業対象者に該当した高齢者等が、練馬区の介護予防・生活支援サービス（訪問サービス、通所サービス等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）

介護予防サービス給付

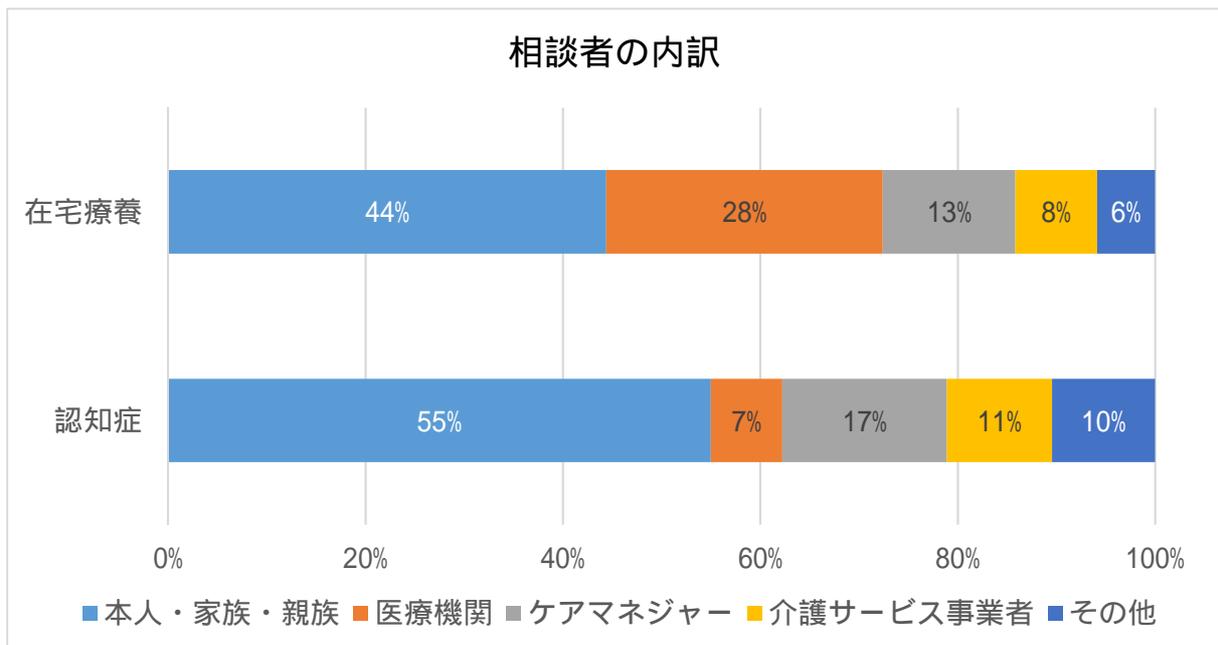
要支援1・2の認定を受けた高齢者等が、主に介護予防給付のサービス（介護予防福祉用具貸与、ショートステイ等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）

7 医療と介護の相談窓口における相談実績 延べ件数

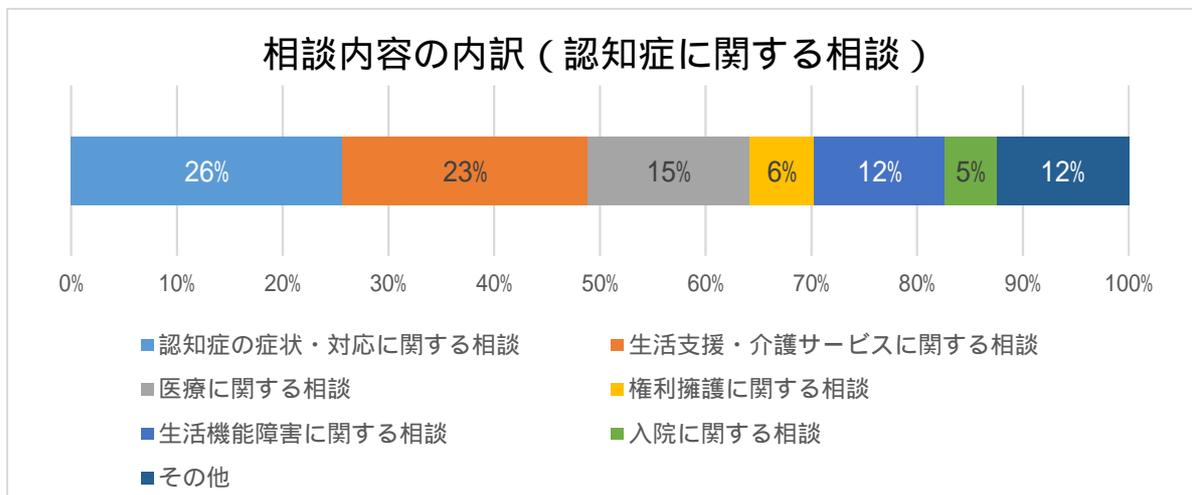
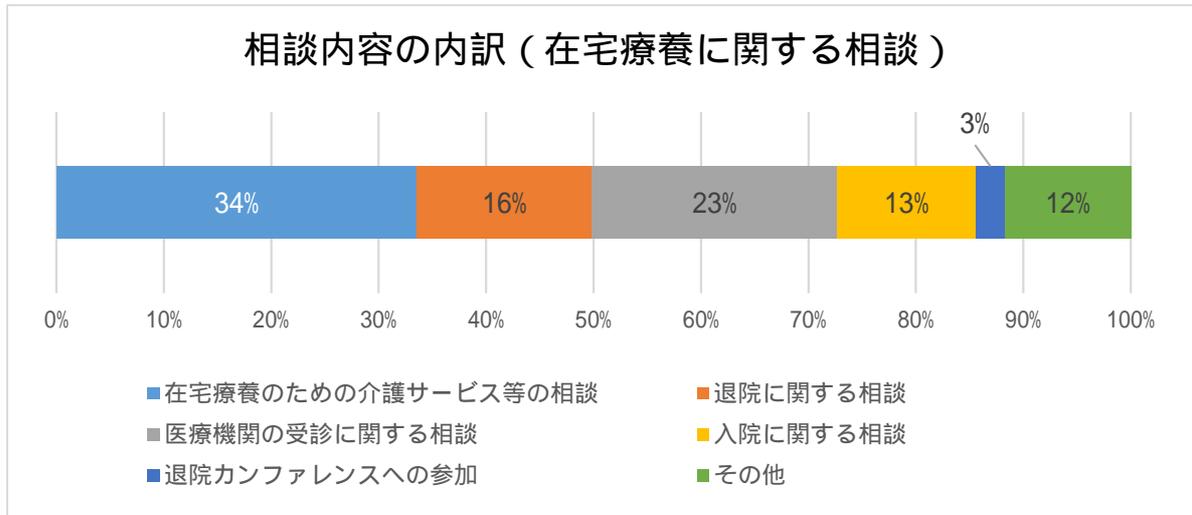
令和5年度の相談件数は23,223件で、内訳は、「在宅療養に関する相談」が14,369件、「認知症に関する相談」が8,854件であった。



相談者は、在宅療養、認知症に関する相談ともに、「本人・家族・親族」からの相談が最も多い。次に多いのは、在宅療養に関する相談では「医療機関」、認知症に関する相談では「ケアマネジャー」であった。



相談内容は、在宅療養に関する相談では、「在宅療養のための介護サービス等の相談」が、認知症に関する相談では、「認知症の症状・対応に関する相談」が最も多かった。



8 ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業の相談実績

平成30年度より全ての地域包括支援センターで開始したひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯への訪問支援事業において、令和5年度では、訪問対象者の98%に当たる14,815人に訪問した。延訪問数は18,181回であった。

